

## 『平和の使徒』～『生き方がハンサム』～

今朝(2026年3月3日)新島襄(1843-1890)(画像)について復学した。新島襄は『七五三太(しめた)』で、祖父が女子が4人続いた後の初の男子誕生に喜び『しめた』と言った事から命名されたとのことである。筆者の母は、島根県出雲市大社町鶴峠の自宅に於いて、安らかに96歳(1923年2月20日～2019年6月3日)の天寿を全うした。母の兄達は、太平洋戦争で戦死し、末っ子の母が我が家を継いだ。そして、女子が2人続いた後の初の男子誕生で、祖父から『家を興(おこ)す=樋野興夫=ひのおきお=Origin of Fire』と命名されたと、膝に抱かれて聞かされた幼年時代の思い出が、今回鮮明に蘇った。

【新島襄は、江戸時代の1864年に密出国し函館港から米船ベルリン号で出国する。上海で、ワイルド・ローヴァー号に乗り換え、船中で船長ホレイス・S・テイラーに『Joe(ジョー)』と呼ばれていたことから以後その名を使い始め、帰国後は『襄』と名乗った。ワイルド・ローヴァー号の船主、アルフィーアス・ハーディー夫妻の援助を受け、1865年10月30日、ハーディーが理事を務めフィリップス・アカデミー(高校)に入学することができた。さらに、アーモスト大学、アンドーヴァー神学校で学ぶ。アマースト大学では、後に、札幌農学校教頭となるウィリアム・クラーク(1826-1886)から化学の授業を受けていた。クラークにとっては最初の日本人学生であり、この縁でクラークは来日することとなった。】とある。

1871年(明治4年)3月15日にワシントン駐在 森有礼(1847-1889)に面会し、8月22日に留学免許状とパスポートを送られ正式な留学生として認可され、1872年アメリカ訪問中の岩倉使節団に会う。新島襄の語学力に目をつけた木戸孝允(1833-1877)は、自分付けの通訳として使節団に参加させた。1874年11月に日本に帰った後の1875年に京都府にて同志社英学校(後の同志社大学)を設立した。また、この時の縁で1876年山本覚馬(1828-1892)の妹・八重(1845-1932)と結婚する。

【男性と対等に生きられる自立した女性との結婚を望んでいた襄は、山本覚馬の家を訪ねたとき、裁縫をする八重の姿を見て、その常識に拘らない姿勢が気に入って結婚を決意したという。八重は、その男勝りの性格で度々周囲と確執を生むが、襄はそれを優しく諫めながら見守っていた。アメリカの友人への手紙で『彼女は見た目は決して美しくはありません。ただ、生き方がハンサムなのです。私にはそれで十分です。』と綴っている。新島襄の最期の言葉は『狼狽するなかれ、グッドバイ、また会わん』である。群馬県の上毛かるたのなかに『平和の使徒 新島襄』がある。】



写真提供 盛岡市先人記念館



写真提供 同志社大学

## 今、懸け橋をつくる。 — 国を越えて、時を越えて！

今この国にもっとも大事なことはなにか。

真の意味の国際交流を実現し、またその先駆者であろうとしつづけた  
二人の先人の生き方と考え方を振り返りながら、参加者の皆様と共有したいと思います。

日本だけのことにとらわれず、大きな視点で、  
「今、懸け橋をつくらうではありませんか！」

### 第10回 お茶の水アカデミアシンポジウム

テーマ「新渡戸稲造没80周年記念・新島襄生誕170周年記念シンポジウム  
— 今、懸け橋をつくる。 — 国を越えて、時を越えて！ —」

● 総合司会 島田 義也 (放射線医学総合研究所)

● 講演 司会：島田 義也 (放射線医学総合研究所)

テーマ「京都時代の新渡戸稲造」 藤井 茂 (新渡戸基金事務局長)

テーマ「日本人の精神的支え」 曾我 文宣 (元放射線医学総合研究所)

テーマ「新島 襄 — クラーク — 内村 鑑三 — 新渡戸 稲造の  
歴史の流れ」 樋野 興夫 (順天堂大学医学部教授)

● パネルディスカッション 司会：島田 義也 (放射線医学総合研究所)

テーマ「国を越えて、時を越えて」

パネラー：藤井 茂 (新渡戸基金事務局長)、曾我 文宣 (元放射線医学総合研究所)、  
渡辺 その子 (文部科学省科学技術・学術政策研究所 総括上席研究官、元ユネスコ)、  
斉藤 卓也 (文部科学省、21世紀の知的協力委員会事務局長)、  
奥村 二郎 (近畿大学医学部教授)

● 総 括 樋野 興夫 (21世紀の知的協力委員会議長) 「温故創新」

12/6(金)

時間：18:30～20:45

会場：中央大学  
駿河台記念館  
(285号室)

主 催：21世紀の知的協力委員会

共 催：御茶ノ水アカデミア研究会

後 援：文科省 (予定)

協 賛：日立アロカメディカル株式会社  
株式会社千代田テクノ

連絡先：放医研・島田 義也  
(FAX 043-206-4138)

URL : <https://sites.google.com/site/ochaacademia/home> 入場無料